

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 16 日 更新

事務事業名		J R 光の森駅駐輪場維持管理支援事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	5	都市基盤の健康					所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和	
	施 策	25	公共交通の充実					所属課	企画課	担当者名	渡邊 光	
	施策の柱	68	公共交通の利便性の向上					所属班	企画広報班	(内線)	1256	
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11467	根拠法令					
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 21 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (P L A N)

【事業の内容】	平成20年2月に菊陽町が整備したJR光の森駅駐輪場の維持管理経費について、駐輪場利用者の約半数が合志市民という実態を踏まえ、JRの利用利便性の確保と駅周辺における不法駐輪対策に協力するとの立場から、菊陽町へ維持管理経費の一部を負担金として支出する事業である。 平成31年3月頃から駐輪場の整備を行い、駐輪場が立体化し屋根付きとなり拡大した。経費の負担割合は、協定により維持管理経費総額の1/4となる。令和4年度に協定書の見直しを行った。
【業務の流れ】	協定に基づく負担金支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (D O , P L A N)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(D0)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
定書締結事務協定に基づき、令和5年度は維持管理費908,115円の負担金支払い事務を実施し、光の森駅駐輪場の維持管理に努めた。		協定に基づく負担金支払い事務。R6年度より合志市地域公共交通実施事業(11465)へ統合。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 協議回数	回	合志市地域公共交通実施事業(11465)へ統合することによる事業費の減	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
JR光の森駅駐輪場		→ ア: 駐輪場の利用率	%
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
安心して利用できる		→ ア: 安心して利用できないという苦情の件数	件
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
市民が駐輪場を安心して利用できることを目的としており、苦情の有無をその指標とした。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	アイ	回	1	1	1	1	0	0	0	0	
② 対象指標	アイ	%	90	90	100	90	0	0	0	0	
③ 成果指標	アイ	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	571	911	921	908				
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	571	911	921	908	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	571	0	921	908	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち臨時職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	2	2	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	50	120	11	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	195	456	43	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	766	1,367	964	908	0	0	0	0	

事務事業名	J R光の森駅駐輪場維持管理支援事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	--------------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 菊陽町による管理が徹底すれば、今後も苦情はないものと思われる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 R6年度より合志市地域公共交通実施事業（11465）へ統合。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 菊陽町の年間経費に左右されるが、現状では協定による費用負担割合（1/4）によって負担しているため削減余地がない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務手続きのみの事業であるため。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 当該駐輪場は、J R光の森駅の利用者は誰でも利用できるものであり、公益性が高い施設である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の所在は菊陽町になり、菊陽町の設置条例による公の施設であり、利用者は無料となっている。

3 評価結果の総括（CHECK）

予定どおり菊陽町の請求により負担金（維持管理経費総額1/4）を支出した。
J R光の森駅の利用者数は年々増加傾向にある、利用者の利便性の維持のため本事業は継続して行うべきであると考える。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） R6年度より合志市地域公共交通実施事業（11465）へ統合。				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"> </td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												